

きいちのぬりえ 蔦谷喜一の世界

2004.9.11sat. - 10.17sun.

- 休館日 月曜日 ただし9.20(月) 10.11(月)は開館 9.21(火) 10.12(火)は休館
- 開館時間 午前10時～午後6時(最終入館は5時30分)
- 観覧料 一般 300(250)円/大・高校生 200(150)円/小・中学生 100(80)円
※()内は20名以上の団体割引料金
- 主催 喜多方市美術館
- 協力 株式会社 小学館/ぬりえ美術館

喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市字押切2-2
Tel. 0241-23-0404 Fax. 0241-23-0406
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>
e-mailbijyutsu@city.kitakata.fukushima.jp



©きいち/小学館

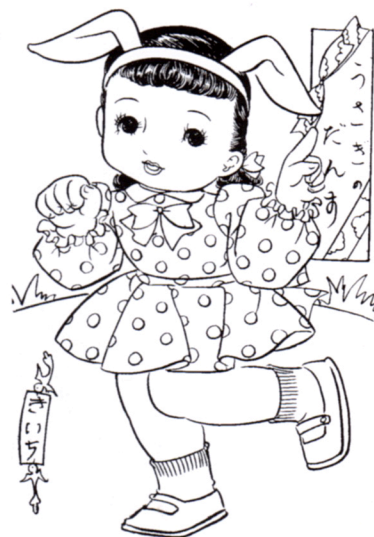
この少女に 出あったのはいつですか
あなたが こどもだったころ……
それとも いま

蔦谷喜一
(つたや・きいち)

1914年、東京京橋生まれ。日本画家、山川秀峰に魅せられて川端画学校に学ぶ。1940年「フジヲ」の名前で描いたぬりえが子供の間で人気を呼んだ。戦後は「きいち」と名前を変えて本格的にぬりえを描き、大ブームとなる。テレビの普及により「ぬりえ」のブームが去るが、きいちの作品は、ポスター、テレビCM等に起用され、80歳を過ぎた頃から、子供の遊びや文化をテーマにした「童女百態」に取り組み現在にいたる。



©きいち/小学館



©きいち/小学館

■講演会

・きいちのぬりえの魅力

- ・9.20(月)午後2時～(開場午後1時30分)
- ・喜多方プラザ文化センター小ホール
- ・入場無料(ただし、入場整理券が必要です。9月11日から美術館窓口で発行します)

・講師
ぬりえ美術館
館長 金子マサ

- ・主催 喜多方市美術館
- ・お問い合わせ 喜多方市美術館 0241-23-0404



金子マサ KANEKO; Masa
ぬりえ美術館 館長

1972年、独協大学外国語学部卒業。資生堂入社。資生堂国際事業関連歴任。2000年、退社。2002年、世界初の「ぬりえ美術館」を荒川区町屋に開設。現在、同館館長。ぬりえ美術館のサロン活動として「ぬりえ文化研究会、ぬりえサロン、山本塾、童謡の会、山岡鉄舟研究会」を主催。

おきいち



おはなさん

すきな色にぬってね!!

電話

なまえ